

## 参 考 资 料

# 広島市内中心部の路面電車値上げ バスは?



現在は運賃が同じ160円で競合する路面電車と各社のバス (広島市中区)

## 競争を意識 探り合い

広島市中心部を走る路面電車の均一運賃が、現在の160円から180円に値上がりすると聞きました。市中心部ではバスも重要な交通手段です。電車に合わせて値上げされないのでしょうか。(東区・会社員男性44歳)

運賃の値上げを打ち出したのは、広島電鉄 消費税増税の影響を除

く、値上げは20年ぶ も含めて検討段階」とり。8月1日からアツ します。広島バス(中 プを計画しています。 区)など他社も「申し

### 7社160円に統一

路面電車と競合する 方針を示していないの が現状です。

例えば、南区のJR広島 県バス協会(東区) 駅から中区の紙屋町一 の専務理事、西川雅己 帯までは輸送人員が最 さん(66)は「業界は値 も多いドル箱区間で、 上げたいのが本音」 バス7社は電車と同額 とみま。運転手不足 の160円にそろえて で人件費が上がり、高 います。今回の値上げ 齢化社会に合わせてバ に伴い、この区間でパ リアフリー車両を増や ス会社は値上げの考え すのにも資金が必要と はあるのでしょうか。 いうのが根拠です。

広島電鉄は「バスは もともとこの区間の 値上げするかしないか 運賃は、各社が原価計

## 人件費増「本音は追随」 運賃差つけば混乱懸念

算で190〜220円 懸念されます。広島都 とはじき、中国運輸局 市圏では、各社連携に 認可されています。 による路線の再編や共通 つまり現状は、電車と 定期券の導入などの議 の競争を意識して16 論が進んでおり、運賃 0円に値引きした状態 が異なる状況は好まし くない、との見方もあ っています。

### 路線再編を議論

広島大学院の藤原

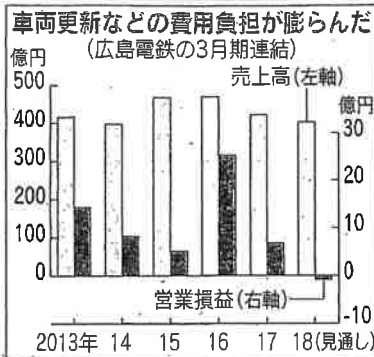
それではなぜ、値上 章正教授(交通工学) げの動きが表面化しな は、各社が運賃をそろ いか。西川さんは、 えた方が、長い目でみ 他社が追随しないと客 れば利用者のためにな が減る▽自社だけ据え るとの意見です。「各 置けば客が増える」と 社の経営努力による自 の計算が働くからだと 由競争が基本だが、サ 考えます。「各社の腹 ービスの向上や赤字路 の探り合いになるだろ 線の維持につながるな う。少なくとも、電車 ら、値上げは必ずしも と同時にバス各社が一 悪ではない。運賃を巡 者に値上げするとは考 べて会社間の関係がこ えにくい」と見ます。 じれるより、連携して 値上げするかどうか 『乗り継ぎ無料』など の判断とは別に、運賃 分かりやすい運賃体系 に差をつけば利用者が にする方がよい」と指 混乱するなどの影響も 摘します。(馬場洋太)

日常生活で感じる疑問、不満などをお 寄せください。ファクス0822(2336) 23321、電子メールhoudou@chug oku-np.co.jp

# 広電、営業赤字に

## 不動産減収、車両費かさむ

は保  
最終確  
期黒字



18年3月期の連結営業  
（前期は6億8千万円の  
黒字）とな  
る見通しを  
発表した。  
8月1日に  
路面電車の  
運賃を20円  
値上げする  
予定だが、  
不動産事業  
で大型案件  
がなくなる  
今期はなくなる。広島県

広島電鉄は9日、2018年3月期の連結営業損益が9千万円の赤字（前期は6億8千万円の黒字）となる見通しを発表した。8月1日に路面電車の運賃を20円値上げする予定だが、不動産事業で大型案件がなくなる。今期はなくなる。広島県

内にある広電子会社のバスの生活維持路線の減収も響く。減価償却費の負担も重い。広島駅前大橋ルートは「2〜3年厳しい決算を努力すれば、将来また安定した経営ができる」と述べ、予定通りだとの見方を示した。

同社は同日、耐震性の不足を理由に西広島駅の駅舎に併設する商業施設「ひろでん会館」を取り壊すことも公表。19年3月期中に解体に着手する。同地域は高層マンションなどの再開発計画もあり、今後は調整を進める。

1億5千万円の赤字（前期は7億6千万円の黒字）と見通した。9日の記者会見で、株主社長は「2〜3年厳しい決算を努力すれば、将来また安定した経営ができる」と述べ、予定通りだとの見方を示した。

同社は同日、耐震性の不足を理由に西広島駅の駅舎に併設する商業施設「ひろでん会館」を取り壊すことも公表。19年3月期中に解体に着手する。同地域は高層マンションなどの再開発計画もあり、今後は調整を進める。

## 西広島電停・ひろでん会館

# 18年度にも解体方針

広電社長

広島電鉄(広島市中区)の椋田昌夫社長は9日、同社の西広島電停と、隣接するひろでん会館(いずれも西区「斐本町」)を、2018年度にも解体する方針を明らかにした。

椋田社長は築52年のひろでん会館について「耐震的に問題がある」と説明。会館には傘下のスパー、マダムシヨイなどが入っており「テナントには18年3月までの退店をお願いしている」と明かした。

ストラムラインを西広島駅まで延伸する広島市の計画に触れ、「市の青写真がはっきりしないと動きにくい」と強調。「仮駅舎を設ける」とした。

「帯では地権者たちが3月、再開発事業の準備組合を発足。西広島電停とひろでん会館を含む約1・82分の区域に地上100坪を超える高層ビルを22年に完成させる構想がある。広電はこの計画に協力する意向を示していた。

また、電車運賃を値上げする方針で、8月にも市中心部でバス運賃と差が生じることについて、椋田社長は「同じ料金の方が動きやすい街になる」と言及。今後のバスの値上げを示唆した。

(村上和生)